環境行動目標（目標と実績）

カシオは、「環境ビジョン 2050」を軸にグローバルな視点で環境行動目標を定め、環境活動を推進しています。2012年度の行動目標と実績、および活動実績を踏まえた2013年度の目標を紹介します。

持続可能な社会の実現に向けた環境ビジョン

カシオは、持続可能な社会の実現に向けた環境ビジョン、および環境経営方針に基づき、環境経営に取り組んでいます。カシオの環境ビジョン、および環境経営方針については、以下のページをご参照ください。

「環境ビジョン」

2013年度　カシオ環境行動目標

製品にかかわる行動目標

1. 環境適合型製品の開発目標

2014年度までにカシオグリーンスター商品の売上比率 50 %を達成する

グリーン商品については、売上比率 80 %以上を継続とする。

工場・事業所にかかわる行動目標

1. 中長期の温室効果ガス削減目標

中期目標

事業活動に伴うグローバルな温室効果ガスの排出総量を、2005年度に対し、2020年度に 30 %削減

長期目標

事業活動に伴うグローバルな温室効果ガスの排出総量を、2005年度に対し、2050年度に 80 %削減

※事業活動：国内および海外の生産拠点とオフィス拠点の活動を指し、物流、製品使用、従業員移動などに伴うCO_2の排出は含まない。

2．省エネルギー目標（電力、燃料等）

カシオグループ全体で、エネルギー使用量(原油換算kL)を、延床面積原単位で、2010年度に対し、2015年度に 13 %削減する

3．省資源目標（水、紙）

国内生産拠点

水使用量を 2010年度に対し、2015年度に 5 %削減

海外生産拠点

水使用量を 2010年度に対し、2015年度に 5 %削減

国内拠点

オフィス用紙使用量を 2010年度に対し、2015年度に 12 %削減

4．廃棄物削減目標

国内拠点

廃棄物発生量を 2011年度に対し、2015年度に 4 %削減

海外生産拠点

廃棄物発生量を 2010年度に対し、2015年度に 48 %削減

5．VOC（揮発性有機化合物）削減目標

国内生産拠点

VOCの大気排出量を2000年度に対し、2015年度までに 45 %削減

※電機電子4団体にて、VOC 20物質を指定。カシオは8物質を使用中。

6．有害物質の使用廃止目標

グループ会社（山梨県・中央市）内に保管中のPCB含有機器の無害化処理を、2014年度までに実施する。
（「日本環境安全事業株式会社」に対し、無害化処理の委託登録済み（2006年6月））
・管轄＝カシオ計算機

※八王子技術センターで保管中の低濃度コンデンサを含む安定器については、受け入れ可能となるまで保管を行う。

7．物流の温暖化対策目標

国内物流

CO_2発生量 *1を　売上高原単位で2015年度に2010年度比 20 %削減

*1対象範囲は製品の販売にかかわる工程とし、資材材料調達、リサイクルに関わる工程は含まない。

事業活動全般にかかわる行動目標

1. 生物多様性の保全目標

カシオグループ生物多様性ガイドラインに基づき、製品系、事業所系における 生物多様性の影響度調査を開始し、2015年度までに、調達活動を始め、生物多様性影響度を削減するための施策を検討し、実施する。

製品系

製品の設計／調達／生産／梱包／販売／物流／リサイクルに関する内容

事業所系

工場・事業所の立地／操業に関する内容

2013年度：	NPO/NGOと協力して策定した影響度調査シートに基づき、パイロット調査を実施する。 パイロット調査及び、「電機電子業界の活動指針／ガイドライン」の分析と対応を踏まえ、活動の戦略、方向性を検討する。
2014年度：	2013年度の結果を踏まえ、影響度調査シート、調査体制の改善を行い、優先度／重要度を考慮し、影響度調査の範囲を拡大する。 また、調達における生物多様性の施策を検討する。
2015年度：	2014年度までの結果を分析して課題の抽出を行い、生物多様性影響度を削減するための施策テーマを設定し、実施する。